

平成19事業年度に係る業務実績報告書の概要



OITA UNIVERSITY

平成20年10月

国立大学法人 大分大学
学長 羽野 忠

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1. 平成16～19年度計画実施にあたっての大分大学の状況について		
— 主として従前の法人評価への対応と関わって —	・・・	1
(1. 1) 組織体制の整備等を目指した主要な取組	・・・	1
(1. 1. 1) 学長室, 理事室, 部門会議制の導入	・・・	1
(1. 1. 2) 学長補佐体制の見直し	・・・	1
(1. 1. 3) 経営協議会の活性化	・・・	2
(1. 1. 4) 事務改革の推進	・・・	3
(1. 2) 外部資金の増加を目指した取組	・・・	4
(1. 2. 1) 学長裁量経費による外部資金獲得支援 (公募事業)	・・・	4
(1. 2. 2) 「地域連携研究コンソーシアム大分」の設置	・・・	4
(1. 3) 学生収容定員の適正化を目指した取組	・・・	5
(1. 3. 1) 「キャンパスライフなんでも相談室」の設置	・・・	5
(1. 4) 法人化のメリットを生かした主要な取組 (経営戦略の推進関連)	・・・	6
(1. 4. 1) 学長裁量経費の戦略的運用 (非公募事業等)	・・・	6
(1. 4. 2) 学長裁量定員の確保と活用	・・・	7
(1. 4. 3) 監査機能の整備・充実	・・・	8
2. 平成19年度計画及び第1期中期計画の完全実施に当たっての基本方針について	・・・	9
3. 平成19年度計画全体の総括	・・・	9

4. その他の各分野における特色ある取組とその成果について	・ ・ ・	10
(4. 1) 業務運営の改善及び効率化を目指す取組	・ ・ ・	10
(4. 1. 1) 教育研究組織の見直しに関する取組	・ ・ ・	10
(4. 1. 2) 評価等に関する取組	・ ・ ・	11
(4. 2) 財務内容の改善に関する取組	・ ・ ・	12
(4. 2. 1) 自己収入の増加に関する取組	・ ・ ・	12
(4. 3) 教育の質の向上を目指した特色ある取組	・ ・ ・	12
(4. 4) 研究の質の向上を目指した特色ある取組	・ ・ ・	13
(4. 5) 社会との連携, 国際交流に関する特色ある取組	・ ・ ・	14
(4. 6) 附属病院に関する特色ある取組	・ ・ ・	15
(4. 7) 附属学校に関する特色ある取組	・ ・ ・	16

1. 平成16～19年度計画実施にあたっての大分大学の状況について — 主として従前の法人評価への対応と関わり —

- ◆ 法人評価委員会からの指摘事項の完全達成を最低限の前提とし、226項目の諸事業の推進
- ◆ 学長リーダーシップのもと、統合と法人化のメリットを生かした「地域社会と連携した特色ある大学づくり」の推進

(1. 1) 組織体制の整備等を目指した主要な取組

(1. 1. 1) 学長室、理事室、部門会議制の導入

- ◆ 部門会議制の検証を行い、部門会議並びに各種委員会の統廃合を実施

(1. 1. 2) 学長補佐体制の見直し

- ◆ 戦略的な病院経営の推進を目指し、非常勤の医療担当理事を医療・研究担当として常勤化するとともに、学長補佐であった附属病院長を副学長へ
- ◆ 学術情報拠点長（平成20年度設置）を、情報化推進担当の副学長への任命を決定
- ◆ 教育プロジェクト担当並びに研究プロジェクト担当の学長特別補佐を、その業務が恒常的な事項であることから、学長補佐へ

(1. 1. 3) 経営協議会の活性化

- ◆ 経営協議会の月例開催，学外委員への事前説明・意見聴取（平成18年度から），会議運営や資料作成等に係る課題解決のため「経営協議会の活性化に向けた基本的考え方」の策定

※ 経営協議会 学外委員一覧

役職等	氏名
大分市医師会長	杉村 忠彦
大分経済同友会代表幹事 大分銀行取締役会長	高橋 靖周
元大分大学教育福祉科学部同窓会豊 友会長	仲道 俊哉
三和酒類（株）取締役会長	西 太一郎
大分県教育委員会委員長	波多野順代
大分県知事	広瀬 勝貞
放送大学学園理事長	御手洗 康
大分合同新聞社取締役論説委員長	森 哲也

- ◆ 理事全員を経営協議会構成員とする見直しの実施

(1. 1. 4) 事務改革の推進

- ◆ 従来の関連会議等を廃止し、新たに「事務改革会議」の設置
- ◆ 緊急性の高い全学的・横断的課題の効率的・効果的な解決のため、9つの全学プロジェクトを設置し、「業務改善提案公募制度」の創設や「内部規則の再構築事業」の実施

※9つの全学プロジェクト

- ・経費削減PT
- ・能力開発PT
- ・事務支援センター設置検討PT
- ・情報化推進PT
- ・規程の再構築PT
- ・職員評価PT
- ・業務改革PT
- ・組織改革PT
- ・ディスクローズ戦略PT



事務改革に関する全学説明会



事務改革行動計画書

- ◆ 平成20年度以降に取り組むべきアクション・プログラムの策定

(1. 2) 外部資金の増加を目指した取組

(1. 2. 1) 学長裁量経費による外部資金獲得支援（公募事業）

- ◆ 科学研究費補助金の採択実績向上を目指し、同補助金の審査において高位でありながら、惜しくも不採択となった課題に対する支援制度を設置し、7件を採択
- ◆ 学長の下に審査委員会を組織し、書類審査とヒアリングを通じたピアレビューの導入と事業完了の翌年度に公開の「成果報告会」の実施



成果報告会

(1. 2. 2) 「地域連携研究コンソーシアム大分」の設置

- ◆ 大分大学長が大分県内の大学や高等専門学校に呼びかけ、地域が抱える課題解決を目指す「地域連携研究コンソーシアム大分」の立ち上げ

(参加校)

大分県立看護科学大学，大分県立芸術文化短期大学，日本文理大学，別府大学，立命館アジア太平洋大学，大分工業高等専門学校，大分大学



大分大学長等による発足記者会見

(1. 3) 学生収容定員の適正化を目指した取組
 (1. 3. 1) 「キャンパスライフなんでも相談室」の設置

◆ 休学者や退学者の減少方策の1つとして、ソーシャルワーカーを配置した「キャンパスライフなんでも相談室」を設置

※ 相談員の充実などによる相談体制の強化による取組の「不登校傾向の学生へのアウトリーチ型支援」が平成20年度学生支援GPに採択



「キャンパスライフなんでも相談」ポスター

(1. 4) 法人化のメリットを生かした主要な取組 (経営戦略の推進関連)

(1. 4. 1) 学長裁量経費の戦略的運用 (非公募事業等)

- ◆ 「学長が直接実施を指示する事業」を活用した、学生の主体的なプロジェクト「大分大学活き² (いきいき) プロジェクト」等の学生支援, 並びに「敷地内全面禁煙」, 「学内共同教育研究施設の統廃合」及び「男女共同参画の推進」等のプロジェクトやワーキングの活動を重点的に支援



「滝廉太郎」銅像
活き²プロジェクト
「きれいな彫刻のある街づくり」



「敷地内全面禁煙」ポスター

- ◆ 「設備マスタープラン」及び「学術情報基盤整備計画」による計画的な設備充実を目指し, 学長裁量経費による「教育研究診療設備整備支援プログラム」の新設

※ 学長裁量経費予算配分の歩み

(単位: 百万円)

プログラム名	平成18年度	平成19年度	平成20年度
教育改革拠点形成支援プログラム	15	13	13
研究推進拠点形成支援プログラム	46	38	33
若手研究者萌芽研究支援プログラム	7	11	12
社会連携推進プログラム	11	10	13
教育研究診療設備整備支援プログラム	—	47	48
公募事業 計	79	119	119
学長が直接実施を指示する事業 (うち科研費の採択に繋がる事業)	28 —	66 (2)	33 (2)
合計	107	185	152

(1. 4. 2) 学長裁量定員の確保と活用

◆ 大学運営の機動的かつ戦略的な展開を目指し、学長裁量定員を確保（教員 18 名，事務職員 10 名）し，戦略的分野に重点的に投入

※教員の配置実績

- | | | |
|--------------|--|--|
| ○平成 17 年度 | 教育方法等の改善充実
医工連携の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・・・ 高等教育開発センター（1 名） ・・・ 先端医工学研究センター（1 名） |
| ○平成 18 年度 | 教育方法等の改善充実
医工連携の推進
特色ある教育研究の推進
知的財産及び社会連携への対応充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・・・ 高等教育開発センター（1 名） ・・・ 先端医工学研究センター（1 名） ・・・ 福祉科学研究センター（1 名） ・・・ イノベーション機構（1 名） |
| ○平成 19・20 年度 | 学術情報基盤整備充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・・・ 学術情報拠点（2 名） |



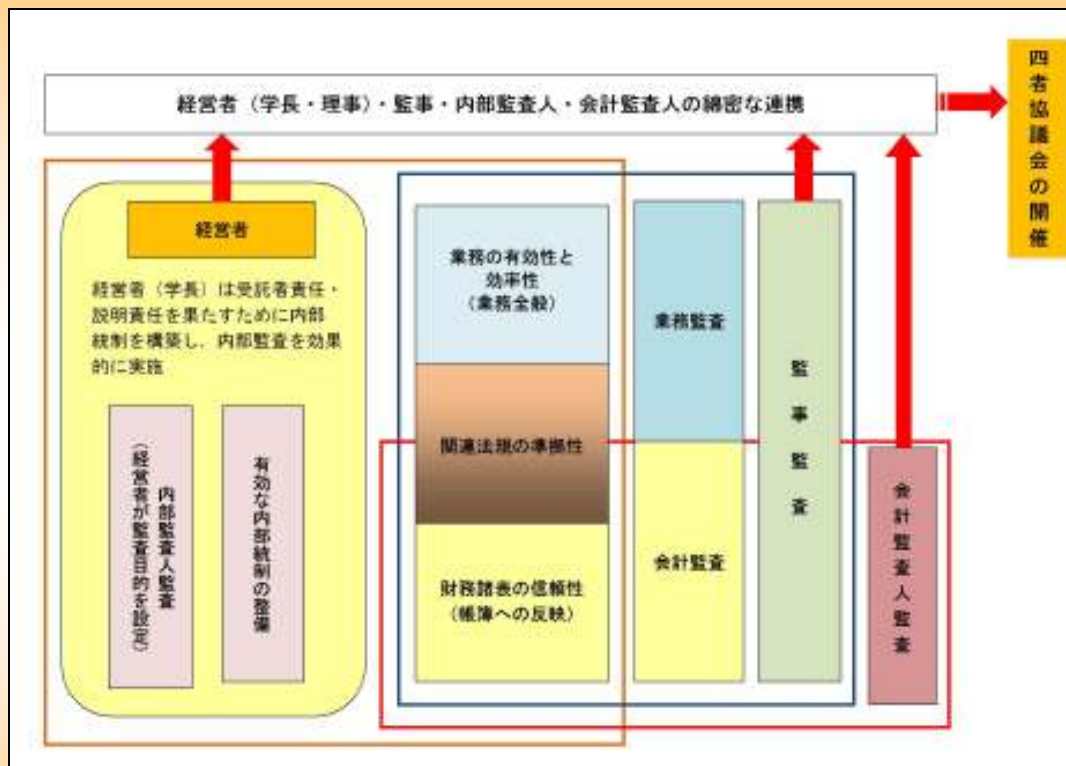
高等教育開発センター主催「大学院 F D 講演会」



先端医工学研究センター

(1. 4. 3) 監査機能の整備・充実

- ◆ 監事、会計監査人及び監査室の役割に応じた三様の監査のそれぞれの監査制度の向上を図るとともに、総務担当理事、事務局長及び監事による「三者会議」、学長、監事、会計監査人及び監査室による「四者協議会」を設置し、問題等の共有化、監事、会計監査人及び監査室による「三者連絡会」を発足し、連携を強化

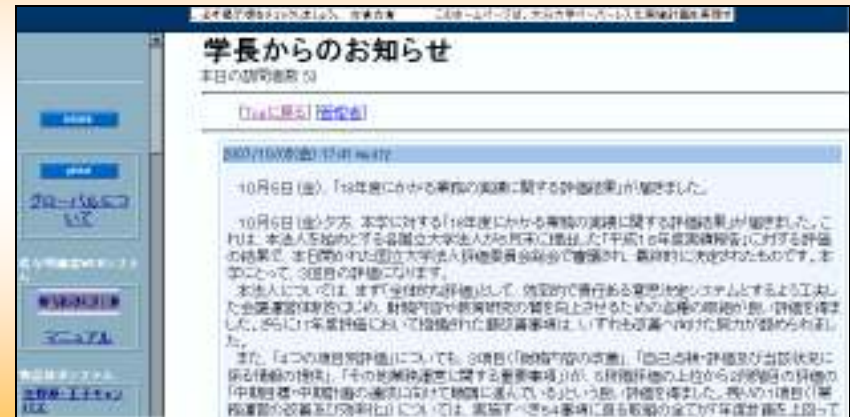


「各種監査の位置付け」について

- ◆ 監査機能の強化を目指し、専任の監査室長の配置（平成20年度）

2. 平成19年度計画及び第1期中期計画の完全実施推進に当たっての基本的方針について

- ◆ 第1期中期目標期間評価を視野に入れ、可能な限りの本年度中の中期計画の完全達成を学内諸会議や学内ホームページ「学長からのお知らせ」より全教職員及び全学生に向けて発信



学内ホームページ「学長からのお知らせ」

3. 平成19年度計画及び第1期中期計画全体の総括

- ◆ 平成19年度計画については、中期目標期間評価への対応として設置した「中期目標期間評価専門委員会」で各事業の進捗状況の確認や学長によるヒアリングの実施により適切に遂行

※年度評価で「中期計画を上回って実施している」との自己評価数の推移

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
項目数	1	5	9	27

4. その他の各分野における特色ある取組とその成果について

(4. 1) 業務運営の改善及び効率化を目指す取組

(4. 1. 1) 教育研究組織の見直しに関する取組

- ◆ 地域社会をリードする高度な専門能力を持つ人材育成を目指し、大学院経済学研究科に博士後期課程地域経営専攻の新設



経済学研究科博士後期課程設置記念式典

- ◆ 「競創の推進」, 「アクセシビリティの確保」, 「ユビキタスネットワークの構築」, 「学術情報データベースの充実」及び「コラボレーションの促進」を目指し, 学術情報基盤整備計画で構想する「ユビキタス情報基盤センター」の実現に向け, 附属図書館と総合情報処理センターを統合した「学術情報拠点」の平成20年度設置を決定, 全学的教育課題に係る企画力・調整力の強化及び機能と役割の一層の充実を目指し, 「高等教育開発センター」と「生涯学習教育研究センター」を統合し, 新たな「高等教育開発センター」の平成20年度設置を決定

(4. 1. 2) 評価等に関する取組

- ◆ 職員評価（大学教員，附属学校教員，事務職員等）の第1回本評価の実施と評価結果の公開ホームページを通じた公表
- ◆ 平成21年度認証評価受審の決定と認証評価用自己評価書（第4次案）の作成
- ◆ 教育研究に関する外部評価の実施と評価結果の関連部署へのフィードバック

※ 平成19年度に実施した大分大学外部評価の外部評価者

大分県教育長	小矢 文則 氏
大分合同新聞社特別顧問	高浦 照明 氏
大分経済同友会代表幹事	高橋 靖周 氏
宇佐市長	時枝 正昭 氏
別府大学長	西村 明 氏
山口大学副学長	三木 俊克 氏



外部評価結果報告 (H20. 3. 24)

(4. 2) 財務内容の改善に関する取組
(4. 2. 1) 自己収入の増加に関する取組

- ◆ 同制度の適用拡大（入学料，半額免除者の授業料及び休学者の復学後の授業料）
- ◆ 自己財源による附属病院内の集中治療部増床改修整備，寄附による病院内喫茶建物及び立体駐車場の整備などによる患者サービスの向上を図るとともに，増収につながる環境の整備の推進



病院内喫茶建物（スターバックスコーヒー）



「立体外来駐車場施工式」テープカット

(4. 3) 教育の質の向上を目指した特色ある取組

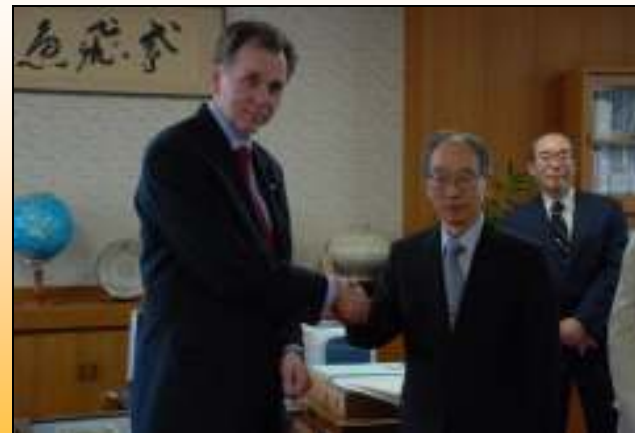
- ◆ 教養教育の責任ある実施体制として，全学教育機構の設置を決定
- ◆ Web上のシラバス入力・提示，成績評価入力・提示，学生による履修登録や成績照会等のため，全学的に統一した新教務情報システムの導入・運用
- ◆ 九州地区13大学で連携した「九州がんプロフェッショナル養成プラン」がGPに採択

(4. 4) 研究の質の向上を目指した特色ある取組

- ◆ 平成 19 年度文部科学省特別教育研究経費（研究推進）「東アジアにおける胃癌研究の拠点形成」を獲得【平成 19～21 年度で約 185 百万円】
- ◆ （独）科学技術振興機構の「戦略的創造研究推進事業」に「高機能分子『スーパー抗体酵素』の自動合成装置と大量合成」が採択【平成 19～24 年度で 180 百万円】
- ◆ （独）科学技術振興機構の「地域結集型研究プログラム」に「次世代電磁力応用機器開発技術の構築」が採択【平成 19～24 年度で 2,261 百万円】
- ◆ （独）日本学術振興会の「外国人著名人研究者招聘事業」の受入主管校として、2005 年度ノーベル医学・生理学賞受賞者であるロビン・ウォーレン西オーストラリア大学名誉教授とバリー・マーシャル同大学教授を平成 18, 19 年度に招聘、「名誉博士」並びに「客員教授」の称号を授与し、研究交流を指導



ロビン・ウォーレン博士と羽野学長



バリー・マーシャル教授と羽野学長

(4. 5) 社会との連携, 国際交流に関する特色ある取組

- ◆ 大分県及び県下全市町村（14市, 3町, 1村）との間で包括協力協定を締結

※ 県内全市町村との協定は全国初



姫島村との包括協定締結調印式

- ◆ イノベーション機構の設置, リエゾンオフィスの開設
- ◆ 国際交流を一層推進するために留学生センター及び留学生課を改組し, それぞれ国際教育研究センター, 国際交流課を設置

(4. 6) 附属病院に関する特色ある取組

- ◆ がんの早期診断・治療法の先端的研究などを行う寄附講座「臨床腫瘍医学講座」の設置
- ◆ 運動器疾患に悩む国民のQOLの向上に寄与するため、寄附講座「人工関節学講座」の設置（平成20年度）
- ◆ 厚生労働省治験中核病院に選定
- ◆ 「腫瘍内科」及び「腫瘍センター」を設置し、大分県がん診療連携拠点病院への指定
- ◆ 女性医師・女性看護師の職場環境の改善のため院内保育所を設置



「大分大学 なかよし保育園」 開園式

(4. 7) 附属学校に関する特色ある取組

- ◆ 学部教員による出前授業を推進し、幼児・児童・生徒だけでなく保護者等も対象にした出前授業を実施し、教材内容や指導法等の教育一般及び子育てについての理解を深めるとともに共通の取組を実施
- ◆ 教育実践総合センターとの連携により、幼児・児童・生徒の学力を向上
- ◆ 教育福祉科学部教員と附属学校園教員との共同研究プロジェクトの実施
- ◆ 姉妹校である韓国自閉症養護学校ミラル学校との教員の研究交流の実施



姉妹校提携の調停式



ミラル学校教員が附属特別支援学校を訪問

大分大学学歌

作詞 蛙屋 萬斎
作曲 道谷 増夫

一、速吸瀬戸の 風寄せる
恵み豊かな この海は
無限の理想 膨らます
我らここに 学びては
深き叡智を 養いて
未知へと挑む 者ならん
ああ 大分大学 我らあり

二、遠く山並み 仰ぎ見る
稔り豊かな この平野
自由の想い 強くする
我らここに 学びては
創造の気を 育みて
時代を導く 者ならん
ああ 大分大学 我らあり

三、広く世界に 開かれた
歴史豊かな この地には
進取の気概 溢れたり
我らここに 学びては
その志 受け継ぎて
世界に羽ばたく 者ならん
ああ 大分大学 我らあり



渡辺恭英 画